

令和7年度入学者選抜試験における学力検査（小論文試験）の概要

■小論文試験の概要

①この学力検査の目的

本学の特別選抜は、三重県内各地域の市町や医療機関において看護職として活躍する強い意思をそなえた受験生を対象とする入学者選抜試験です。この特別選抜のなかで「地域推薦型選抜」と「東紀州地域指定校推薦型選抜」、「多言語多文化選抜」は、とくに思考力と判断力、表現力において優れた能力をそなえた受験生を対象とします。このため、これらの入学者選抜試験は学力検査として、外国語（英語）で書かれた文章の日本語もしくは英語による要約と、この文章に関わりのある論点についての日本語による小論文を実施します。

②問題について

- ・問題は、英語で書かれた文章の要約問題（問1）と、この内容に関連する日本語による小論文問題（問2）の、全2問からなります。
- ・問1における英文は、500語程度の平易な文章（英検3級から2級の能力で十分に読解可能な文章）からなります。解答者はこれについて、日本語もしくは英語のいずれかを用いて、適切な要約を作成します（要約における字数・語数の指定はありません）。
- ・問2における小論文は、問1の英文のトピックにかかわりのある論点を提示します。解答者は、この提示された論点についての賛否とその根拠を、600字程度の日本語で論述します。
- ・問1と問2のいずれも、多くの人々の生活や意識のあり方にかかわりのある、一般性の高い主題のなかから出題します。

③解答の評価の観点

- ・問1：平易な英語で書かれた文章の内容を理解できるか
：文章の論理展開を把握することができるか
- ・問2：自身の見解を明確な根拠とともに説明できるか
：常識的な時事的主題について一定の理解を持っているか

④解答時間と解答方法、配点

- ・解答方法：問1において、英語辞典等を使用する必要のない平易な英文の読解にもとづき、日本語もしくは英語のいずれかで要約を作成する。問2において、この英文のトピックにかかわりのある論点について、日本語で論述する。
- ・解答時間：120分（問1と問2を同一時間帯内で解答する）
- ・配点：100点満点（問1と問2をそれぞれ50点とする）

⑤そのほか

- ・上記の「小論文試験（外国語の読解を含む）」のサンプル問題と解答例については、令和6年3月に本学ホームページ等において公表する予定です。
- ・「地域推薦型選抜」と「東紀州地域指定校推薦型選抜」、「多言語多文化選抜」においても、上記の学力検査に加え、面接試験を実施します。なお、これらの選抜試験の詳細については、本学ホームページ等をご参照ください。